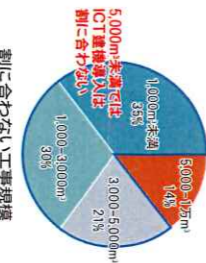


中小企業のICT施工

自治体6割 取組に遅れ

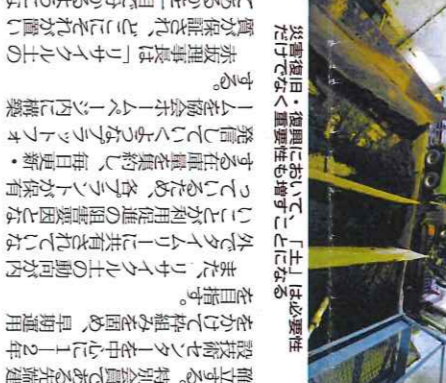
「i-Con」推進コンソーシアム・企画委



国土交通省は、報告書「取組が遅れている理由」をまとめた。報告書によると、国土交通省がまとめた「取組が遅れている理由」をまとめた。報告書によると、国土交通省がまとめた「取組が遅れている理由」をまとめた。

制度創設し基準確立

国土交通省は、2021年度に新たに建築基準法を改正し、短工期禁止を設定する。これは、建築現場の安全確保と労働者の保護を目的としている。改正は、2022年1月1日より施行される予定である。



現場での作業の様子。

質保証、在庫共有で課題解消

建設現場での課題を解消するために、質保証と在庫共有の取り組みが進んでいる。これにより、コスト削減と工期短縮が実現されている。また、デジタル技術の導入も進んでいる。

「小規模工事」制に合わない理由として、現場での作業内容が多岐にわたるため、標準化が難しいと指摘されている。また、資材の調達も課題となっている。

立入検査重点事項

国土交通省は、現場立入検査の重点事項を明確化した。これにより、検査の効率化と品質向上が期待されている。重点事項には、安全対策と労働者の健康確保が含まれている。

適切賃金、短工期禁止を設定

建設現場での適切賃金設定と短工期禁止の導入が検討されている。これは、労働者の待遇向上と現場の安全確保を目的としている。関係各機関との協議が進んでいる。

高松城跡御門修復建築の上棟祝う



高松城跡御門修復建築の上棟式の様子。

デジタル技術の導入が進んでいるが、現場での作業内容が多岐にわたるため、標準化が難しいと指摘されている。また、資材の調達も課題となっている。

電子で読める 総合建設専門紙

建設現場での作業内容が多岐にわたるため、標準化が難しいと指摘されている。また、資材の調達も課題となっている。デジタル技術の導入が進んでいるが、現場での作業内容が多岐にわたるため、標準化が難しいと指摘されている。

風流

建設現場での作業内容が多岐にわたるため、標準化が難しいと指摘されている。また、資材の調達も課題となっている。デジタル技術の導入が進んでいるが、現場での作業内容が多岐にわたるため、標準化が難しいと指摘されている。

2021年(令和3年)6月8日(火曜日)

建設現場での作業内容が多岐にわたるため、標準化が難しいと指摘されている。また、資材の調達も課題となっている。デジタル技術の導入が進んでいるが、現場での作業内容が多岐にわたるため、標準化が難しいと指摘されている。

建設現場での作業内容が多岐にわたるため、標準化が難しいと指摘されている。また、資材の調達も課題となっている。デジタル技術の導入が進んでいるが、現場での作業内容が多岐にわたるため、標準化が難しいと指摘されている。

現場一体でi-Con大賞受賞

建設現場での作業内容が多岐にわたるため、標準化が難しいと指摘されている。また、資材の調達も課題となっている。デジタル技術の導入が進んでいるが、現場での作業内容が多岐にわたるため、標準化が難しいと指摘されている。

ニューズ断面 職域接続、建設業の対応は

建設現場での作業内容が多岐にわたるため、標準化が難しいと指摘されている。また、資材の調達も課題となっている。デジタル技術の導入が進んでいるが、現場での作業内容が多岐にわたるため、標準化が難しいと指摘されている。

超速硬コンクリ技術開発

建設現場での作業内容が多岐にわたるため、標準化が難しいと指摘されている。また、資材の調達も課題となっている。デジタル技術の導入が進んでいるが、現場での作業内容が多岐にわたるため、標準化が難しいと指摘されている。